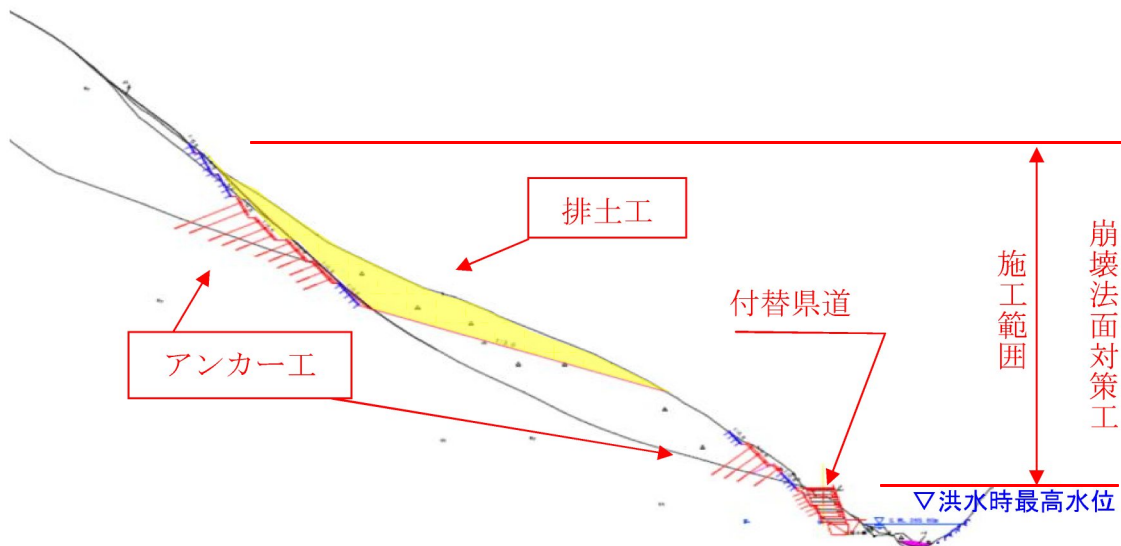
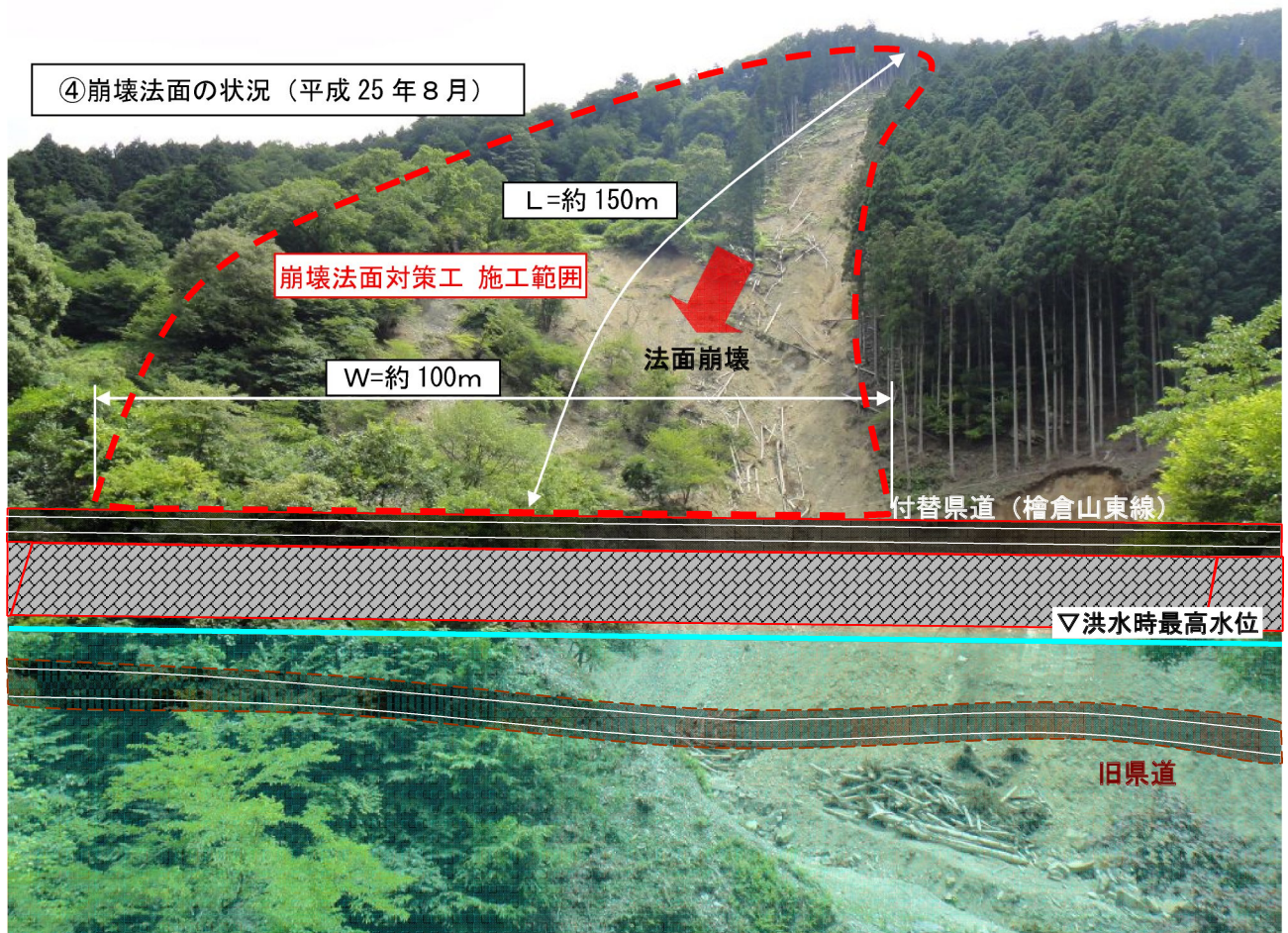






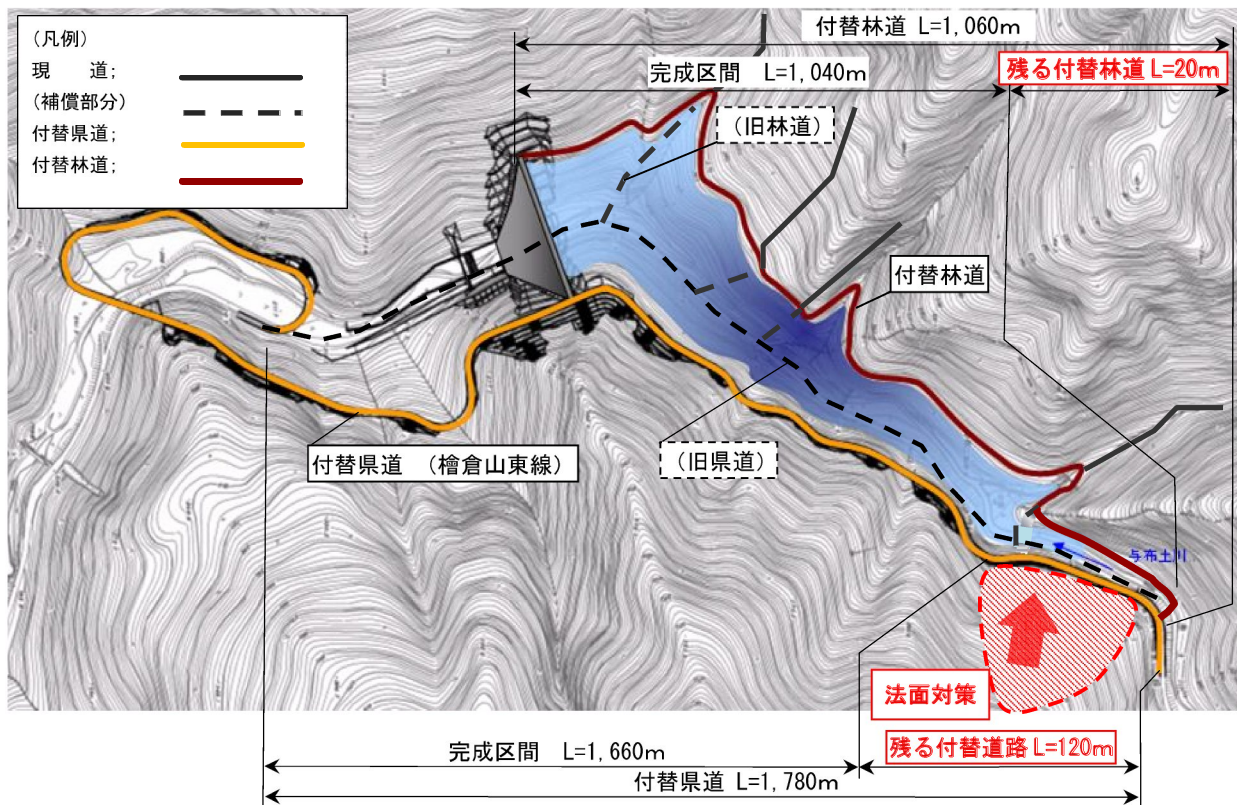
# 与布土生活貯水池 被害状況

平成23年台風12号による被害状況（貯水池上流の県道法面崩壊）





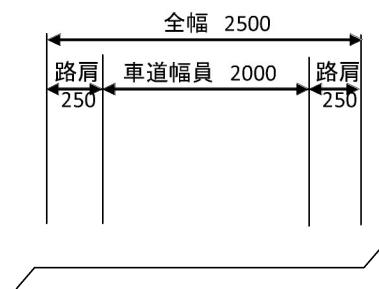
# 与布土生活貯水池 付替道路の必要性



付替県道 計画断面図



付替林道 計画断面図



### ◆与布土生活貯水池建設事業スケジュール

	H15まで	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
測量・調査	■												
用地買収等	■												
付替道路工事		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ダム本体工事						■	■	■	■	■	■		
管理設備工事								■	■	■	■		

<凡例>  
■ 当初計画  
■ 実施計画

### ◆与布土生活貯水池建設事業の費用便益比

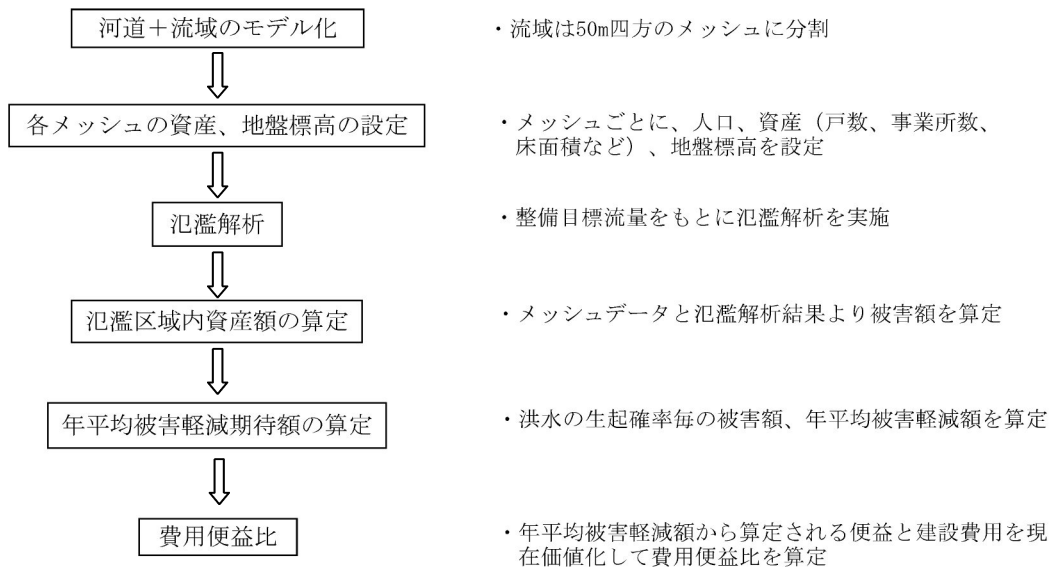
#### (1) 費用便益比の考え方

- 1) 便益＝治水事業を実施することによる被害軽減期待額を現在価値化  
 被害額＝一般資産被害（家屋、家庭用品、事業所償却資産、農漁家償却資産等）  
 ＋農産物被害＋公共土木施設等被害＋営業停止被害＋応急対策費用＋残存価値
- 2) 費用＝「建設費＋維持管理費」を現在価値化

#### (2) 算定に用いた資料

治水経済調査マニュアル（案） 国土交通省河川局 平成17年4月

#### (3) 便益（B）の算出方法



#### (4) 費用便益（B/C）

便益(B)		費用(C)			B/C
総便益 (百万円)	代表的な効果	総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
26,445	確率規模1/50の降雨に対して ○浸水面積21ha軽減 ○浸水戸数66戸軽減	16,385	15,921	464	1.6

## ダム事業の効果

対象事業：与布土生活貯水池建設事業

### (1) 費用対効果

評価の視点	効果項目 (費用対効果の便益内容)
治水安全度の向上	浸水被害の軽減

一般資産被害  
 (家屋、家庭用品、事業所償却資産、  
 農業家償却資産等)  
 ・農産物被害、公共土木施設等被害、  
 営業停止被害、応急対策費用

### (2) 費用対効果に含まれない効果 目

※○印は当該事業効果の主な項目

評価の視点	効果項目	該当する事業内容等
社会経済活動等の安定	道路、鉄道等の交通途絶による波及被害の軽減	○ 県道檜倉山東線等の交通途絶による波及被害の軽減
	医療・社会福祉施設、防災拠点施設、文化施設等の被害の軽減	○ 照福こども園、高齢者施設ひばり、与布土公民館、森公民館の浸水被害軽減
	共同事業者による利水効果	○ 朝来市上水道用水の確保
魅力ある河川空間の創造	多様な生物の生活環境の保全・再生・創出	○ 渇水時においても安定した水を供給し農業用水の確保や動植物の生息環境を保全
	親水空間の整備・景観への配慮	○ 親水護岸・階段工の整備、桜の植樹、水没域の植生復元などによる河川空間の親水性の向上

### (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	<p>① 平成 23 年台風第 12 号により、付替県道予定箇所の斜面が崩壊したため、地域関係者より「与布土ダム事業協議委員会」に対し、崩壊斜面对策工法及び工程について説明会を実施した。</p> <p>② 委員会においては、地域関係者は、山林の管理等のためには付替道路は必要不可欠であり、用地協力を含め工事には最大限協力するので、工事用車両の通行による安全対策等に配慮しながら、できるだけ早期に工事を完成して欲しいとの意見であった。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------